

平成 18 年度当初予算 重点プログラム別概要

元気 7：競争力のある三重の農林水産物創出プログラム

(主担当部：農水商工部)

- (1) 新「三重ブランド」推進事業
- (2) 「三重の顔」商品力強化支援事業
- (3) 「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業
- (4) 肉牛の産地間競争力の賦与技術の開発事業
- (5) 海洋深層水施設整備支援事業
- (6) 栽培漁業センター海洋深層水利用施設整備事業

< プログラムの事業費 >

(単位：千円)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	3 か年計
当初計画	357,445	392,000	77,000	826,000 程度
見直し後	108,175	638,705 (267,900)	74,026	820,906

注：見直し後の 16 年度は決算額、17 年度は予算現額、18 年度は当初予算額

17 年度 () は、16 年度からの繰越額で予算現額の内数

< 事業目標 >

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(1) 「三重ブランド」ホームページアクセス数 (件 / 月)	目標値	9,000 件	11,000 件	12,000 件
	実績値	14,903 件	13,000 件	
(2) 採択農林水産物の認知度の増加率	目標値	0%	5%	15%
	実績値	0%	5%	
(3) 高品質種苗安定生産率	目標値	2.3%	4.2%	6.7%
	実績値	2.8%	1.4%	
(4) 脂肪質を低下させる条件の提示数 (累計)	目標値	1 件	2 件	5 件
	実績値	1 件	2 件	
(5)(6) 海洋深層水利用水量	目標値	120 トン (試験取水・年間)	120 トン (試験取水・年間)	2,885 トン (最大日量)
	実績値	60 トン	40 トン	

注：17 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 「三重ブランド」については、デザインを再構築した PR ツールによる積極的な情報発信により、ホームページアクセス件数が増加したほか、新たなブランドを創出す

るための「ビジネスプランコンペ」については、農林水産物や加工品等で過去最多の38件の応募があり、取組による効果がみられます。

- ・ 16年度に認定した6産地の産地構造改革プログラムについては、着実なプログラムの達成に向けた支援を行っているほか、海洋深層水については今年度末の完成を目指し取水施設の建設が順調に進んでいます。
- ・ 農林水産物の産地間競争は激しさを増しており、競争に打ち勝つ戦略的な農林水産物を育成するほか、やる気のある生産者や団体を中心に、消費者の視点に立って流通体制を含めた構造改革を進め、商品の競争力を高めることが課題となっています。

<平成18年度の取組方向>

- ・ 産地間競争に負けない競争力のある農林水産物を育てるため、全国に通じる高い商品力をもった農林水産物や加工品を生産しようとする意欲的な生産者等を支援することで、ブランド化に向けた取組に対する生産者等の意識も高まりつつあります。地域における農林水産業への取組を基本とし、高付加価値化への取組の一層の活性化を図るため、戦略的な情報発信や産地構造改革プログラムの確実な実践に向けた支援に加え、新品種の開発、高品質化への技術的なサポートを進めます。

<主な事業>

新「三重ブランド」推進事業【18年度当初予算額 35,705千円】

全国に通じる高い商品力があり、三重県に対するイメージの向上につながる県産品及びその生産又は製造を行う事業者等を「三重ブランド」として認定・情報発信するとともに、新たな「三重ブランド」創出への支援を行います。

「三重の顔」商品力強化支援事業【18年度当初予算額 23,550千円】

平成16年度に認定した、伊賀米、伊勢茶、県産牛、ヒノキ、養殖マダイ、トラフグの「産地構造改革プログラム」の実践を支援し、産地間競争に負けない競争力のある農林水産物を育てます。

「三重のマハタ」高品質・早期安定生産技術開発事業【18年度当初予算額 11,771千円】

新しい養殖魚種「マハタ」の高品質種苗の大量安定生産技術を確立するため、生残率の向上、形態異常魚対策、ウイルス病対策の課題解決に取り組みます。

肉牛の産地間競争力の賦与技術の開発事業【18年度当初予算額 3,000千円】

県内産和牛の肉質について脂肪質の観点から分析し、飼養管理技術等の改善点を明らかにし、ブランドとして更なる高品質化を図ります。